

あらすじ

ホー、ホー。ここは、たくさんの動物たちが楽しく暮らす森。元気な動物たちも、今は、ぐっすり眠っているようじゃわい。ん？わしか？わしは、この森に住むふくろうじっちゃじゃ。何でも知ってる物知りふくろうじゃ。占いもできるぞい。

この森がまた、こんなになぎやかになるなんて、長生きはするもんじゃて。でも、少し前までは、悲しい寂しい森じゃったんじゃよ。なぜかって？少し話をしてやろうかの。

なあに、元々はぎやかな森じゃったんじゃよ。動物たちはもちろん、花の精も森の精も歌ったり踊ったり。そうそう、ほれ、空の国からも遊びに来ておったぞ。名前は何といったかの。んー、年を取ると、忘れっぽくていかなの。まあいいわい。そんな楽しい毎日が、ずーっと続いておったんじゃ。その子も赤松の精の笛に合わせて森の動物たちと仲良く歌っておった。二人はとっても仲良しでの。それはそれは幸せな毎日じゃった。あの恐ろしい炎で森が燃えてしまうまでは…。それ以来、空の国から遊びに来ることはなくなってしまったんじゃよ。あの子はどこにいったのか、みんな、心配したんじゃよ。空の国の王様もすっかり心を閉ざしてしまっ。

どれくらいさみしい日が続いたろうかのう。140年もたった頃だったかの。赤松の精の誕生日に、奇跡が起こったんじゃ。森のみんなが力を合わせたおかげでの。

どんな奇跡かって？それはの…、おや？なんだか騒がしい声が聞こえてきたぞい。また、アブない刑事たちが、とんちんかんなことをしておるのか？それとも天狗がふらふら歩き回っておるのかの？

そろそろ夜も明けるか。花の精や森の精たちも起き出す頃じゃ。話の続きは、また今度じゃな。今日もいい天気になりそうじゃの。

ふくろうじっちゃ



3月 自分たちで考えた物語の
プレゼンテーション

公演までの ホップ・ステップ!



9月 音楽劇を成功させよう!



6月 オリエンテーション
テーマの発表



9月 ドンバルでの会場練習



7月 役のオーディション



熱くそして温かく
ご指導くださった
土谷さん・齋藤さん



8月 台本の読み合わせ